

スタジオ・キュー Studio Q

SUMITEM

2015
冬号
(年4回発行・通算89号)



発行 住友セメントシステム開発株式会社
 PCアプリケーション事業部 URL:http://www.sumitem.co.jp
 ユーザーHPアドレス URL:https://user.sumitem.co.jp/supernet/top.aspx

主な記事

- ・ SuperNetXL-Q 機能紹介
 動荷重検査表・容積検査 2
 動荷重検査表・容積検査
- ・ パソコン便利機能紹介
- ・ 年末年始の営業案内

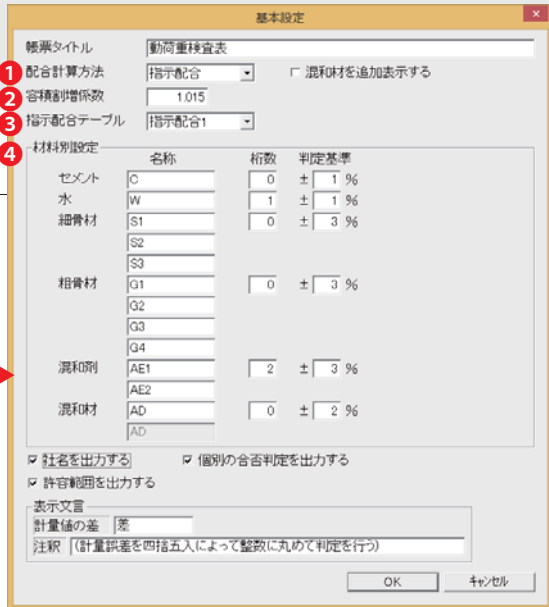
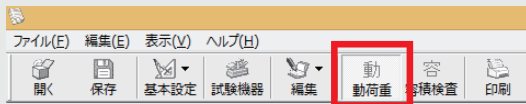
SuperNetXL-Q 機能紹介

今回は動荷重検査表・容積検査 2 及び動荷重検査表・容積検査の違いと、それぞれの帳票作成までの流れをご紹介します。

動荷重検査表・容積検査 2

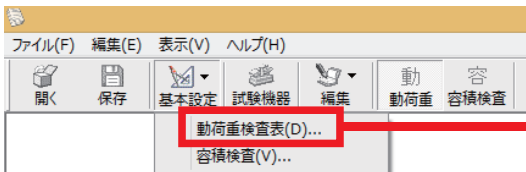
- ・ 完全マニュアル(手入力)での編集が行えます。
 - ・ 出荷管理(PSS)と連動している場合、出荷実績(動荷重値)の取り込みが行えます。
 - ・ バッチ毎に個別に配合の抽出が行えます。
- 設定値をダイレクトに入力、抜き出しすることができるため計算過程のズレが無くなります。

◆操作手順 ▶▶▶▶▶ 動荷重



基本設定 / 動荷重検査表 (D)

配合計算方法、各材料の桁数、判定基準の設定が行えます。



- ① 配合計算方法：「標準配合」または「指示配合」の選択が行えます。
- ② 容積割増係数：①で指示配合を指定している場合に使用されます。
- ③ 指示配合テーブル：①で「指示配合」が選択されている場合、こちらで指定した指示配合を抜き出せます。
- ④ 材料別設定：各材料の名称、桁数、判定基準を設定できます。

2. 編集

配合基本データの抽出し、設定値、動荷重値の編集等が行えます。



2-1 標準配合値編集 (H)

配合基本データの抽出しが行えます。

配合基本データ参照 (H) からバッチ No 毎に個別に配合基本データの抽出しが行えます。

2-2 設定値編集 (S)

バッチ量毎に設定値の入力が行えます。

2-3 計量値編集 (K)

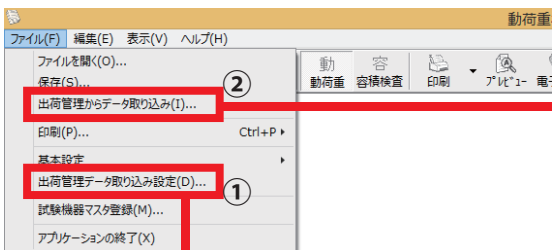
動荷重値の入力が行えます。基本設定で設けた判定基準と照らし合わせて合否判定が行われます。

2-4 動荷重備考編集 (D)

備考欄及び日付の編集が行えます。

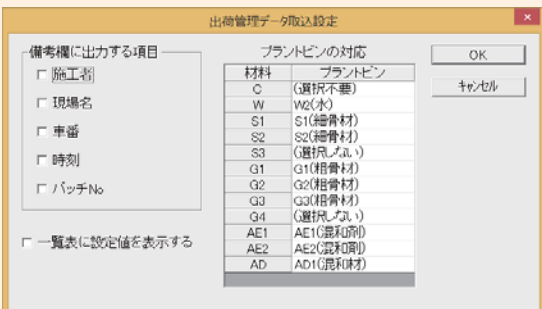
3. 出荷管理データ取り込み (※出荷管理と連動している場合)

出荷管理と連動している場合、出荷実績(動荷重値)の取り込みが行えます。



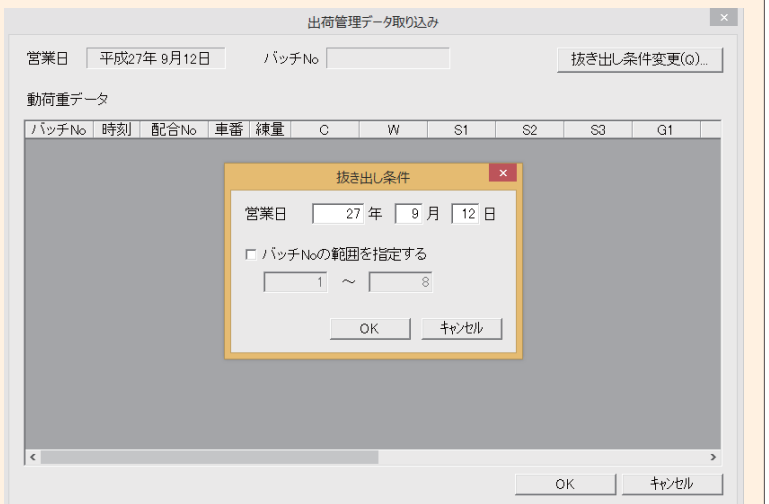
① 出荷管理データ取り込み設定 (D)

各材料欄に貯蔵ビンを設定します。

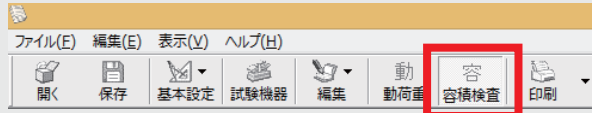


② 出荷管理からデータ取り込み (I)

「抜き出し条件」で指定した営業日の出荷実績を取込みます。



◆操作手順 ▶▶▶▶ 容積検査



1. 試験機器登録

容積検査に使用する試験機器の登録が行えます。



〈試験機器マスタ〉計算には下容器容積、下容器質量を使用します。

試験機器マスタ

No	製造メーカー	機器No	下容器容積		全容器容積		下容器質量		全容器質量		製造年月日
			cc	ℓ	cc	ℓ	g	kg	g	kg	
1	〇〇製作所	1175	7000	7.000	7100	7.100	5000	5.000	6000	6.000	2015/7/16
2	〇〇精機	2443	7000	7.000	7000	7.000	5000	5.000	6000	6.000	2015/7/16

「追加」
試験機器の新規作成。

「編集」
登録した試験機器の編集が行えます。

追加(A)...
編集(E)...
閉じる(C)

2. 基本設定／容積検査 (V)

容積検査の試験方法、計算方法、計算値の桁数設定等が行えます。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

開く 保存 基本設定 試験機器 編集 動荷重 容積検査

動荷重検査表(D)...

容積検査(V)...

容積検査基本設定

帳票タイトル 動荷重単品 ~動荷重(単品)による方法~
トラックスケール ~トラックスケールによる方法~
動荷重累加 ~動荷重(累積)による方法~

スランプ欄表記

質量の単位

① 小数部桁数

質量	3	小数部
単位容積質量	3	小数部
積載容積	3	小数部
容積判定係数	3	小数部
納入書記載容積	3	小数部
トラックスケール	0	小数部

動荷重の小数部桁数を動荷重検査表の設定に合わせる

② 容器

容積(ℓ)	7.000
質量(kg)	5.000

表示文言

⑥ 試験用試料採取割増量を表示する

OK キャンセル

③ 規格値

試験方法

④ 工程管理

容積判定係数

⑤ 製品

容積判定係数

ロスの設定

容積判定係数計算方法

空気量ロス(%)

容積係数単位

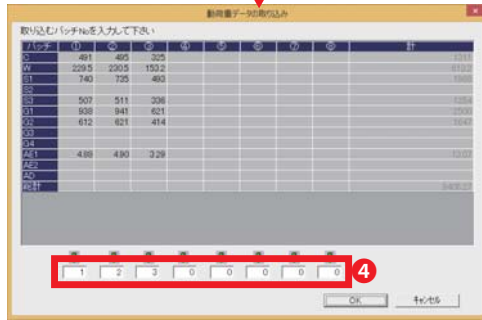
混和割計算方法

- ① 小数部桁数：質量、単位容積質量、積載容積、容積判定係数、納入書記載容積、(トラックスケール) についてそれぞれ桁数設定が行えます。「動荷重の小数部桁数を動荷重検査表の設定に合わせる」に「✓」が付いている場合、後述の「動荷重データ取り込み」でデータを取込んだ際に動荷重検査表の桁数を採用します。
- ② 容器：試験機器登録で登録した機器の下容器容積、下容器質量を呼出せます。手入力も可能です。
- ③ 試験方法：「動荷重法(単品)」、「トラックスケール法」、「動荷重法(累加)」のいずれかを選択します。(*1)
- ④ 工程管理：「✓」が付いている場合、工程検査の容積判定欄が帳票に追加されます。
- ⑤ ロスの設定：「✓」が付いている場合、空気量ロス(%)の補正計算を行います。
容積判定係数については「単質 × (1 + ロス)」、「単質 ÷ (1 - ロス)」いずれでも計算結果は同じです。
- ⑥ 試験用試料採取割増量を表示する：「✓」が付いている場合、後述の容積検査データ編集で試験用試料採取のための割増量が入力可能になります。

(*1) 動荷重法(単品)：材料毎の合計を合算して総質量を計算します。
トラックスケール法：トラックスケール法の書式に変わります。①のトラックスケールの桁数設定が行えます。
動荷重法(累加)：計量ピン毎に累加計算された値を合算して総質量を計算します。

編集 / 容積検査データ編集 (G)

試験結果の入力、動荷重データの取り込みが行えます。



- ① 容器の容積：... をクリックすることで「1. 試験機器登録」で登録した機器の容器の容積、質量を呼出せます。
- ② 総質量編集 (S)：動荷重検査表で入力した動荷重データを取り込みます。(*1)
- ③ 試験用試料採取のための割増量：2. 基本設定 / 容積検査 (V) の⑥に「✓」が入っている場合入力が可能になります。

(*1 総質量編集 (S) / 動荷重データ取り込み / ④に動荷重検査表のバッチ No の入力、[OK] を押すことで、動荷重データの取り込みが行えます。

動荷重検査表・容積検査

- ・単位量の自動計算が行えます。
- ・操作盤毎に計量方法 (丸め方等) が異なるため、値に関して必ずしも一致するものではありません。

基本設定 / 動荷重検査表 (D)



- ① 設定値計算方法：「個別計算」又は「連続計算」の選択が行えます。(*1)
- ② 配合計算方法：「標準配合」又は「指示配合」の選択が行えます。(*2)
- ③ 容積割増係数：配合基本データ選択時の容積割増係数初期値になります。
- ④ 計量方法：「単品」又は「累加」の選択が行えます。(*3)
- ⑤ 指示配合テーブル：配合基本データ選択時の指示配合テーブル初期値になります。
- ⑥ 材料別設定：各材料の貯蔵、計量ピン、桁数、丸め方法、判定基準の設定が行えます。

(*1 個別計算：容積割増後の値から設定値を計算するとき、計算の各段階でデータを丸めます。
 連続計算：容積割増後の値から設定値を計算するとき、計算の最後までデータを丸めません。
 (*2 「指示配合」を選択した場合、帳票の「標準配合」が「現場配合」に変わり、原材料の規格登録で登録された指示配合最小単位で丸められます。また、配合基本データ選択時の指示配合テーブル初期値として⑤の設定が適用されます。
 (*3 単品：骨材の値は個別に計算されます。
 累加：骨材の値は⑥で設定した同じピン No 毎に累加計算されます。

容積検査に関しては「動荷重検査表・容積検査 2」の容積検査の設定と同様になります。

パソコン便利機能紹介

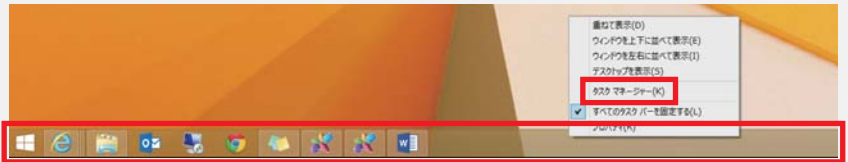
！ 画面の強制終了

「アプリケーションが固まって動かない」、「エラーメッセージが出て閉じられない」、そんな場合にタスクマネージャーを使用して画面を強制的に閉じることができます。

1 タスクマネージャーを起動する

方法1. タスクバーからタスクマネージャーを開く方法

デスクトップ画面の下部、タスクバー上でマウスボタンを右クリックすると、下のような画面が出るので「タスクマネージャー」を左クリックで起動してください。



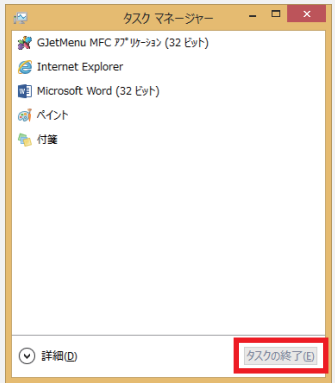
方法2. キーボードからタスクマネージャーを開く方法

キーボード左下の「ctrl」、「shift」を押しながら「esc」を押すとタスクマネージャーが起動します。

2 タスクの終了

動かない、閉じられないアプリケーションを選択して頂き、「タスクの終了」で強制的にアプリケーションを終了させることができます。

※Windows のバージョンによって表示画面が異なることがございますが基本的には同じ手順でタスクの終了が行えます。画像例は Windows8 です。



！ スクリーンショット

モニター画面の画像を撮りたいときに便利な機能です。StudioQ に載っている画像もスクリーンショットを使用して撮影したものです。

方法

キーボード右上の「Print scr」を押すとモニター画面全体の画像を撮ることができます。「Alt」を押しながら「Print scr」を押すと対象にした画面のみを撮ることができます。

撮影した画像はペイント、Word、Excel 等に貼りつけて保存できます。



「Print scr」はキーボードの種類によって表記が異なります。「prt sc」、「print screen」等の表記があります。

便利な ショートカットキー

【コピー、切り取り、貼り付け】

普段マウスの右クリックで行っているコピー、貼り付け等の作業をキーボードだけで行えます。

コピー



※コピーしたい文章を範囲指定し、「Ctrl」を押しながら「C」を押す。

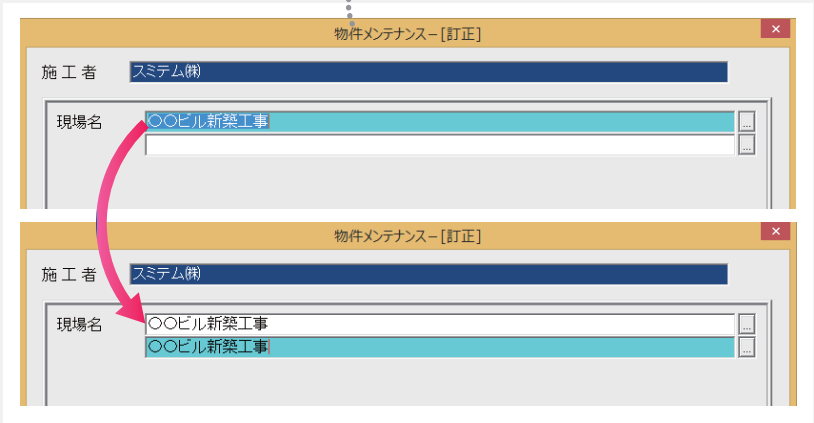
切り取り



貼り付け



コピー、貼り付け例



【その他】

戻る



誤って文章を削除した直後等、前の操作に戻ることができます。

※画面を閉じたり切り替え等を行うと戻らなくなることがございます。

アプリケーションの切り替え



複数のアプリケーションを立ち上げている場合に簡単に切り替えることができます。

3つのアプリケーションを
キーボード操作のみで
切り替えている例



◆ 年末年始の営業案内 ◆

2015年12月30日(水)から2016年1月4日(月)の期間は、
フリーダイヤルをお休みいたします。

また、同期間は、営業業務・経理業務もお休みとなります。

何卒ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

この1年ご愛顧いただきまして、誠にありがとうございました。

来年も SuperNet シリーズをどうぞよろしくお願い申し上げます。



住友セメントシステム開発株式会社

本社	●〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 芝NBFタワー 3F	TEL(03)6403-7864	FAX(03)6403-7873
大阪支店	●〒541-0052 大阪市中央区安土町 3-2-14 サンキュービルディング 4F	TEL(06)6271-7110	FAX(06)6271-7122
札幌営業所	●〒060-0003 札幌市中央区北 3条西 2-10-2 札幌 HS ビル 10F	TEL(011)232-1748	FAX(011)221-1017
福岡営業所	●〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-2-5 紙与博多ビル 8F	TEL(092)476-3377	FAX(092)476-3378
名古屋営業所	●〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 2-14-19 住友生命名古屋ビル 3F	TEL(052)566-2500	FAX(052)566-3285
東北営業所	●〒980-6003 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 SS30(住友生命仙台中央ビル)3F	TEL(022)263-1460	FAX(050)3737-0922